

医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善について

倉敷平成病院では、医療従事者の負担を改善するために以下の取り組みを実施しています

・医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

- ・看護師、事務等による外来診察時の予診の実施
- ・看護師、事務等による入院の説明の実施
- ・薬剤師による服薬指導
- ・検査技師による静脈採血の実施
- ・事務、検査技師による検査手順の説明の実施

・外部医療機関との協力体制

- ・地域連携室を設置し、他の医療機関への紹介を推進
- ・非常勤医師による病院当直業務の応援体制構築

・医師事務作業補助者の配置

- ・診断書、サマリー等作成補助
- ・外来診察室で診療録記載等の診療補助業務実施
- ・入院患者の定期処方入力
- ・臨床研究のサポート

・看護職員の負担軽減

- ・各病棟への看護補助者の配置と巡回型看護補助者の配置
- ・11時間以上の勤務間隔の確保
- ・夜勤後の休日確保
- ・子育て中、介護中の短時間勤務の設定

・院内保育所の設置(夜間保育あり)

・病棟薬剤師配置による薬剤管理

・臨床工学士による医療機器管理

平成30年4月

倉敷平成病院 院長